

俳句と 現代詩の あいだ—

Between Haiku and Modern Poetry

第1部: 多和田 葉子氏 特別講演「だぶる文字、かさなる声」

第2部: シンポジウム「俳句と現代詩のあいだ」

登壇者: 高橋 睦郎 高野 ムツオ 神野 紗希 田 原

コメンテーター: 多和田 葉子 水田 宗子

2016 9.16 (金) 14:00~17:00

学校法人城西大学 東京紀尾井町キャンパス1号棟ホール

入 場 無 料

14:00~15:00 特別講演 多和田 葉子氏
「だぶる文字、かさなる声」

15:00~15:20 休 憩

15:20~17:00 シンポジウム
「俳句と現代詩のあいだ」

登壇者: 高橋 睦郎、高野 ムツオ、
神野 紗希、田 原

コメンテーター: 多和田 葉子、水田 宗子

参加費無料(要事前申込み)

申込み・問い合わせ先:

kiro@jiu.ac.jp TEL.03-6238-1400



アクセス インフォメーション

- 東京メトロ有楽町線 麹町駅1番出口より徒歩3分
- 東京メトロ南北線 永田町駅9a 番出口より徒歩5分
- 東京メトロ半蔵門線 半蔵門駅1番出口より徒歩7分

主催: 城西大学国際現代詩センター 後援: 思潮社

俳句と
現代詩の
あいだ—

Between Haiku and Modern Poetry

趣 旨

日本から第一線で活躍している著名な俳人・詩人、そして芥川賞受賞作家でドイツ語と日本語で作品を発表されている多和田葉子氏をお招きし、特別講演とシンポジウムを開催いたします。日本の詩歌の伝統を持ちながら、現代の詩表現として発展してきた“俳句”と20世紀の新たな表現として世界的に詩表現の主流となった“現代詩”、この二つのジャンルの間に広がる表現の空間について、語り合う機会としたいと考えています。

登壇者プロフィール

多和田 葉子 *Tawada Yoko*

作家・詩人。東京都に生まれる。高校時代にドイツ語を学び、大学卒業後、ハングルにあるドイツ語書籍輸出取次会社に就職。以後、ドイツの永住権を取得し、生活の拠点はドイツとなる。1987年、ドイツにおいて短編小説と詩からなる『Nur da wo du bist da ist nichts / あなたのいるところだけなにもない』を刊行する。小説家として、1991年『かかとを失くして』で第34回群像新人文学賞を受賞。1992年『犬婿入り』で第108回芥川賞を受賞。この10月から『ユリイカ』で詩の連載が始まる。また、俳句の創作や、二言語の境界を越境する創作活動についてのエッセイの執筆などその活動は多彩である。

高橋 睦郎 *Takahashi Mutsuo*

北九州に生まれる。少年時代から、詩、俳句、短歌を併作。のちに、能、狂言、浄瑠璃、オペラ台本…などを加え、日本語詩歌のあらゆる可能性に挑みつづける。詩集26冊、句集8冊、歌集7冊、小説、舞台台本など著書多数。詩集『王国の構造』で藤村記念歴程賞、『兔の庭』で高見順賞、『旅の絵』で現代詩花椿賞、『姉の島』で現代日本詩歌文学館賞、『永遠まで』で現代詩人賞、句歌集『稽古飲食』で読売文学賞、俳句をめぐる活動で現代俳句大賞、評論『和音羅読—詩人が読むラテン文学』で鮎川信夫賞。2000年度紫綬褒章。2012年度旭日小綬章。東西の古典文学、伝統芸能の鋭い読みなおしでも注目される。

高野 ムツオ *Takano Mutsuo*

俳人。宮城県に生まれる。金子兜太の結社「海程」活動を経て佐藤鬼房に師事。1972年、海程新人賞準賞を受賞。1987年、『陽炎の家』を刊行。1988年、第24回海程賞を受賞。1993年、『烏柱』刊行。1994年、宮城県芸術選奨、第44回現代俳句協会賞を受賞。2002年の佐藤鬼房の逝去ののち「小熊座」を主宰。2011年に東日本大震災後は、震災詠を多数含む句集『萬の翅』を上梓。同句集により第65回読売文学賞（詩歌俳句賞）、第6回小野市詩歌文学賞、第48回蛇笏賞受賞。

神野 紗希 *Kouno Saki*

俳人。愛媛県松山市に生まれる。高校時代、俳句甲子園をきっかけに俳句をはじめる。2002年、第1回芝不器男俳句新人賞にて坪内稔典奨励賞を受賞。同年、句集『星の地図』を刊行。2004～2010年までNHK「俳句王国」司会を担当。2012年、句集『光まみれの蜂』を刊行。2013年度NHK「俳句さく咲く！」選者。2015年より、現代俳句協会青年部長。よく知られている句に「起立礼着席青葉風過ぎた」「寂しいと言い私を薦にせよ」などがある。大学では、新興俳句運動を中心に、近現代の俳句を研究。お茶の水女子大学修士課程修了。現在、明治大学兼任講師・玉川大学非常勤講師。

水田 宗子 *Mizuta Noriko*

詩人・比較文学者。東京都に生まれる。両親ともに富安風生門下の俳人で、俳句になじみある家庭に育つ。大学在学中に『詩組織』（ぶうめらんぐの会）に参加。米国イェール大学にて博士号取得。帰国後、城西大学、城西国際大学にて教鞭を取る。2008年に学校法人城西大学日中短詩協会を設立、名誉会長に就任。2013年、生命の尊厳を表現する詩人に贈られるスウェーデン国チカダ賞受賞。これまで出版した詩集に『春の終りに』『幕間』『帰路』『サンタバーバラの夏休み』『アムステルダム結婚式』『青い藻の海』『東京のサバス』、現代詩文庫『水田宗子詩集』等。詩に関する評論として『モダニズムと〈戦後女性詩〉の展開』その他、書著多数。

田 原 *Tian Yuan*

詩人・翻訳者。中国河南省に生まれる。日中両国の言語における詩作活動のほか、谷川俊太郎の研究も行っている。主な著書に詩集『田原詩選』（中国語）、Beijin-Tokyo Poems Composition（英語訳）、『そして岸が誕生した』（日本語）、『石の記憶』（日本語）、翻訳書に『谷川俊太郎詩選』（中国語訳9冊）、『辻井喬詩選集』（中国語訳）、編著『谷川俊太郎詩選集1～3巻』（集英社文庫）、博士論文集『谷川俊太郎論』（岩波書店）、思潮社の現代詩文庫『田原詩集』などがある。2001年第1回留学生文学賞大賞を受賞。2010年第60回H氏賞を受賞。2013年第10回上海文学賞を受賞など。

<< 次回 国際現代詩センターイベントのご案内 >>

国際現代詩センターでは、スウェーデン王国「チカダ賞」・学校法人城西大学国際現代センターとの共催で、生命の尊厳を表現することについて考える第二回チカダ賞記念シンポジウムを下記の要領にて開催いたします。ぜひ、ご参加をお待ちします。

◆日時：2016年11月18日（金） 時間未定 ◆場所：学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス1号棟ホール

申込先：koro@jiu.ac.jp 03-6238-1400【事前申込 要】